



はじめに

この章では、Cisco Unified Communications Manager の Dialed Number Analyzer の概念を示し、主要な機能について説明します。

- [Dialed Number Analyzer, 1 ページ](#)
- [機能, 1 ページ](#)
- [関連項目, 3 ページ](#)

Dialed Number Analyzer

Dialed Number Analyzer は、Cisco Unified Communications Manager とともに、機能サービスの 1 つとしてインストールできます。このツールにより、Cisco Unified Communications Manager のダイヤルプラン設定を展開前にテストできます。また、このツールを使用して、展開後のダイヤルプランを分析することもできます。

ダイヤルプランが複雑になり、複数のデバイス、トランスレーションパターン、ルートパターン、ルートリスト、ルートグループ、発信側および着信側の変換、およびデバイスレベルの変換が関係すると、ダイヤルプランに誤りが含まれる場合があります。Dialed Number Analyzer を使用してダイヤルプランをテストするには、ダイヤルされた番号を入力に使用します。ダイヤルされた番号が分析され、コールの詳細が表示されます。その結果を使用してダイヤルプランを診断し、問題があれば特定し、ダイヤルプランを調整してから展開できます。

関連トピック

- [関連項目, \(3 ページ\)](#)

機能

Cisco Unified Communications Manager の Dialed Number Analyzer は、リモートサーバからアクセス可能な Cisco Unified Communications Manager 機能サービスとして動作します。

Cisco Dialed Number Analyzer では、Cisco Unified Communications Manager ダイアルプラン内のインバウンドコールとアウトバウンドコールを分析できます。コールが分析され、結果として、コールパターン、ダイヤルされた番号に該当する発信側と着信側の変換など、コールの詳細が表示されます。

次の項では、ツールの各機能について説明します。

関連トピック

[関連項目](#), (3 ページ)

アクセシビリティに関する準拠

Dialed Number Analyzer の各 Web ページは、ユーザフレンドリで、ほとんどのアクセシビリティ要件に適合するように設計されています。すべてのページに用意されたスキップナビゲーションリンクにより、スクリーンリーダーのユーザにとってナビゲートがしやすくなっており、フォームに値を入力する際にも役立ちます。すべてのテキストフィールドのフォントと色について、高コントラストの Windows システム設定を受け入れます。また、Dialed Number Analyzer は、最終的な出力ページ用に高コントラストの実装も提供しています。

最終的な出力ページにおいて、スクリーンリーダーアプリケーションのユーザは階層的な結果に関する情報にアクセスできません（すべてのアイコンが箇条書きとして読み上げられます）。また、異なる階層の情報を選択してアクセスすることもできません。DNA では最終的な結果の出力ページに XML データ構造を使用しているため、そのことが制限になっています。階層のアクセシビリティに関する問題を少しでも軽減するために、標準のツリー制御イメージアイコンではレベル情報が提供されています。また、スクリーンリーダーを使用する場合、[すべて展開 (Expand All)] ボタンと [すべて縮小 (Collapse All)] ボタンのどちらがクリックされているかに関係なく、スクリーンリーダーは出力ページ内の XML ツリー データ構造のコンテンツ全体を読み上げます。

関連トピック

[関連項目](#), (3 ページ)

分析

Cisco Unified Communications Manager の Dialed Number Analyzer では、ダイヤルプランをテストする際に、発呼側と着呼側の役割を持つ特定のデバイスを選択できます。IP 電話、CTI ポート、ゲートウェイなどのデバイスからのコールを分析できます。

簡単な分析ならば、ダイヤルされた番号を入力として直接入力し、分析を実行する必要があるコーリングサーチスペースを選択することで実行できます。デバイスを選択した場合、そのデバイスに関連付けられているコーリングサーチスペースを使用して、分析が実行されます。

また、デバイスにバインドされていない発呼側番号を分析することもできます。

Dialed Number Analyzer では、コールパーク、MeetMe、メッセージ受信インジケータ (MWI)、コールピックアップなどの機能固有のパターンに対してコールが分析されます。

Dialed Number Analyzer は、展開されたシステムで Cisco Unified Communications Manager が実施するのとまったく同様に、着信側トランスフォーメーションと発呼側トランスフォーメーションをさまざまな段階でダイヤルされた番号に適用します。分析の出力には、ダイヤルされた番号のエンドツーエンドの詳細が含まれます。

関連トピック

[関連項目, \(3 ページ\)](#)

番号削除の命令

Cisco Unified Communications Manager データベースには、着信側トランスフォーメーションの情報が保存されています (Cisco Unified Communications Manager のダイヤルプランに指定される番号削除の命令 (DDI) など)。Dialed Number Analyzer は、Cisco Unified Communications Manager データベースを使用してダイヤルプランを分析します。また、ダイヤルプランに指定されている番号削除の命令を表示することもできます。

Cisco Unified Communications Manager は、ルートパターンを使用して、内部と外部のコールをルーティングまたはブロックします。ルートパターンは Cisco Access Gateway、電話、およびルートリストに割り当てられます。Dialed Number Analyzer では、デバイスに関連付けられている、分析する Cisco Unified Communications Manager のダイヤルプランで設定されているダイヤリングパターンを表示できます。

関連トピック

[関連項目, \(3 ページ\)](#)

分析の出力

Dialed Number Analyzer では、分析の実行に使用しているブラウザの新しいウィンドウに分析結果が表示されます。オンラインで結果を確認するか、表示された出力を取得と利用が容易な XML ファイル形式で保存することができます。

これらの機能の使用方法については、このマニュアルの後半で説明します。

関連トピック

[関連項目, \(3 ページ\)](#)

関連項目

- [Dialed Number Analyzer, \(1 ページ\)](#)
- [機能, \(1 ページ\)](#)
- その他の Cisco ドキュメント
- 『Installing Cisco Unified Communications Manager』

- 『Cisco Unified Communications Manager System Guide』
- 『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』
- 『Cisco Unified Communications Manager Serviceability System Guide』
- 『Cisco Unified Communications Manager Serviceability Administration Guide』